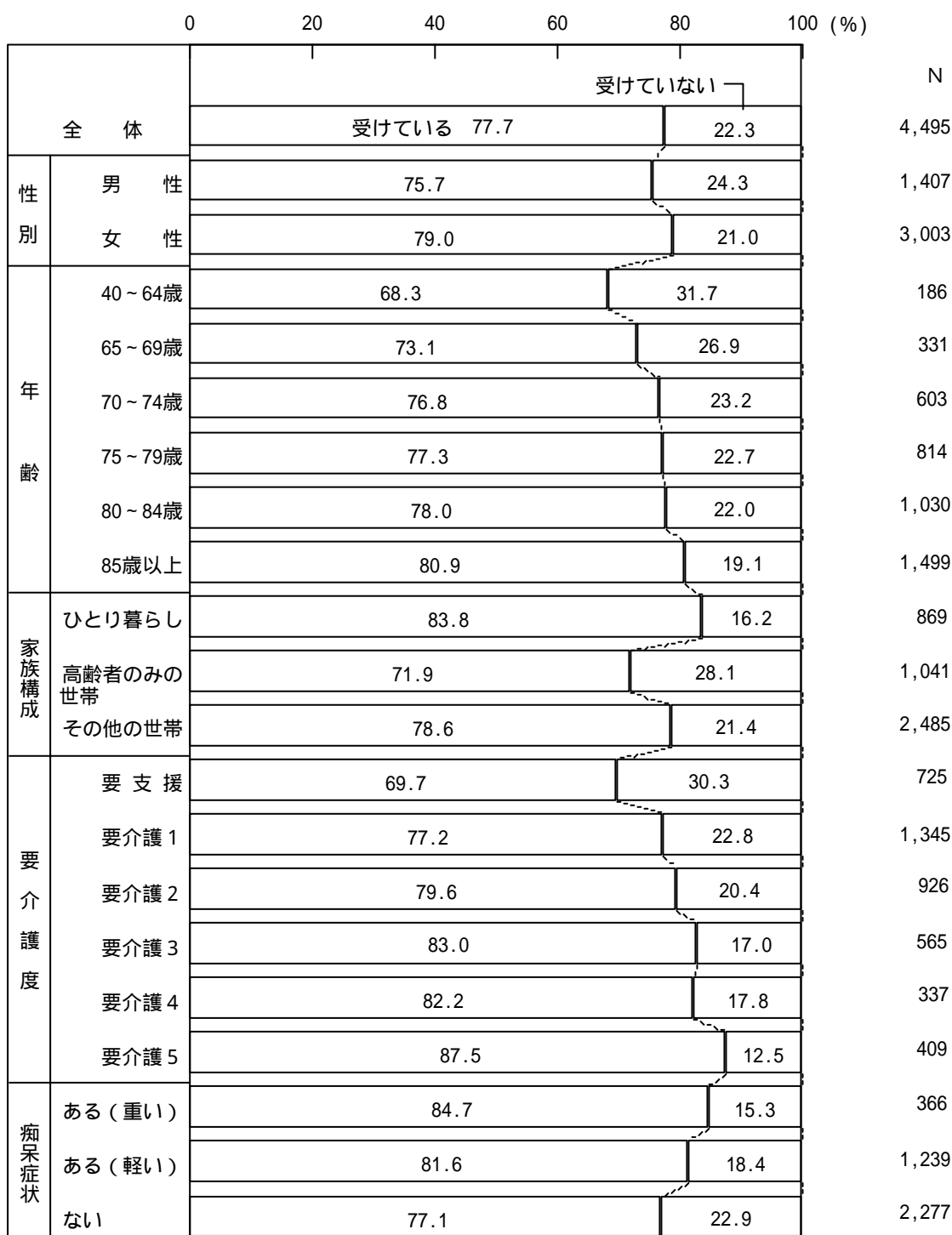


4 介護サービスの利用状況

(1) 介護サービスの利用状況

居宅の介護サービスを「受けている」のは77.7% (3,491人)、「受けていない」のは22.3% (1,004人)です。「受けている」率が高いのは、性別では女性、年齢別では高齢層ほど、家族構成別ではひとり暮らし、要介護度別では重度ほど、痴呆症状の有無では痴呆症状が重いほど、高くなっています。

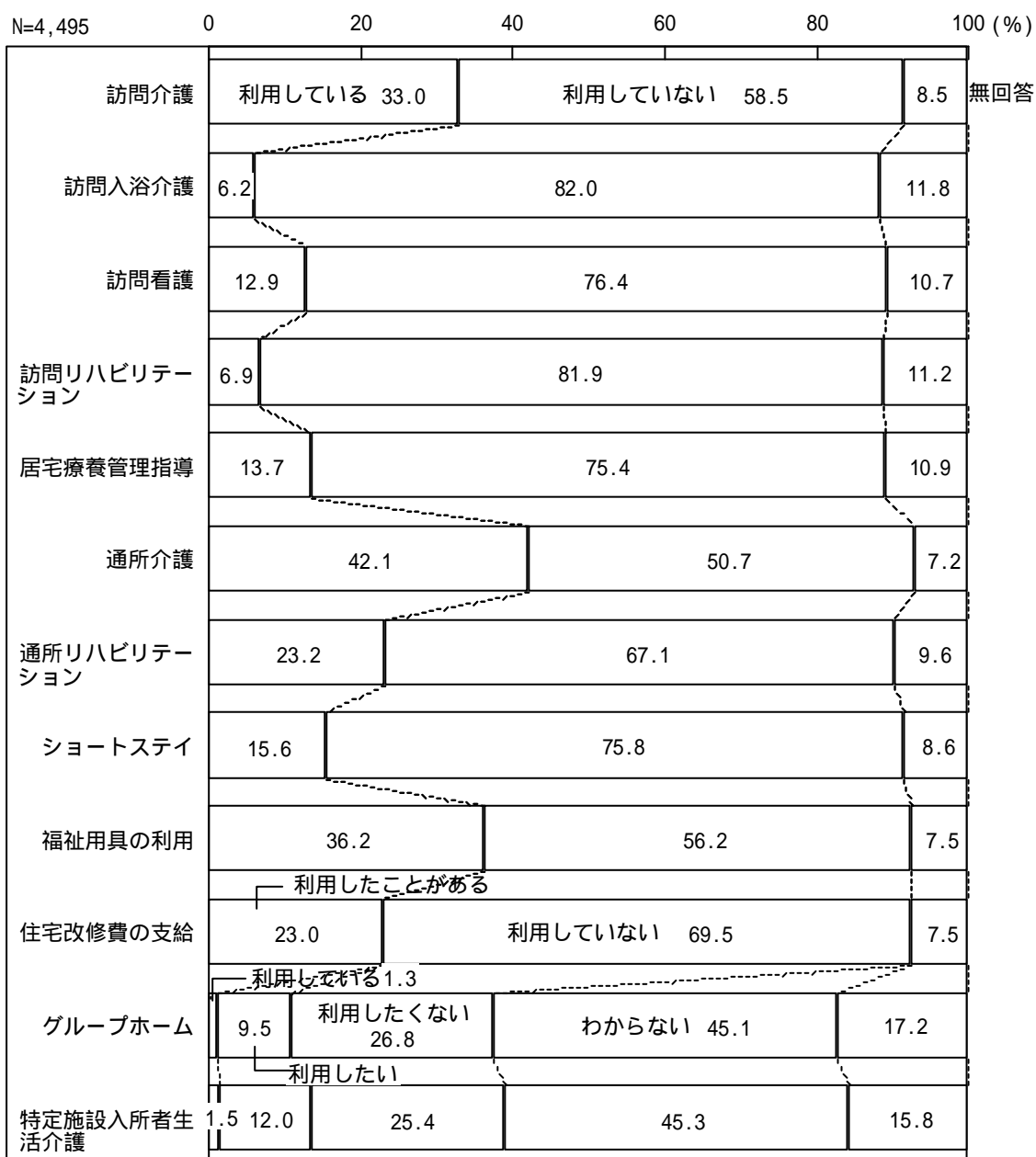
図3 - 9 介護サービスの利用状況



(2) 種類別居宅サービスの利用状況

居宅サービス全般の利用状況を見ると、「通所介護」が42.1%あり、これに「通所リハビリテーション」(23.2%)を加えた通所系サービスは65.3%と非常に高い率となっています。「福祉用具の利用」(36.2%)「訪問介護」(33.0%)もかなり利用されています。かつて、「通所介護」「訪問介護」と並んで在宅3本柱と言われた「ショートステイ」は15.6%にとどまっています。

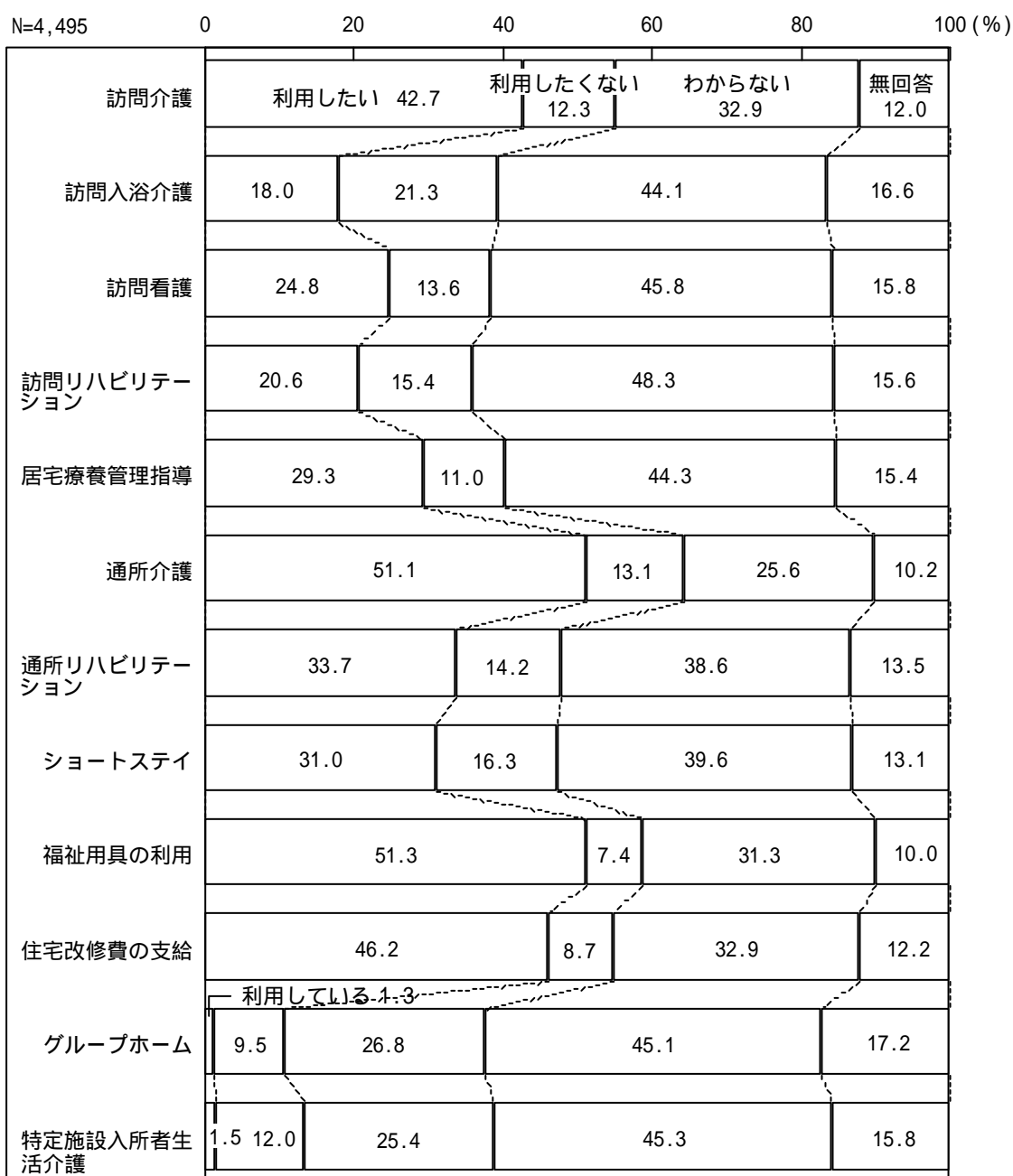
図3 - 10 種類別居宅サービスの利用状況



(3) 種類別居宅サービスの利用意向

利用意向が高いのは「福祉用具の利用」(51.3%)、「通所介護」(51.1%)、「住宅改修費の支給」(46.2%)、「訪問介護」(42.7%)などです。利用状況と利用意向に大きな開きがあるのは、「福祉用具の利用」「住宅改修費の支給」「ショートステイ」などです。一般的に「わからない」が高くなっていますが、サービス自体がわからないのか、これから利用するかわからないのか、自分が利用できるかどうかかわからないのか、はっきりしません。いずれにしても、保険者である市による情報提供やケアマネジャー等による説明は今後も続けていく必要があります。

図3 - 11 種類別居宅サービスの利用意向



(4) 訪問介護

訪問介護を「利用したい」は、「利用している」より9.7ポイント高くなっています。利用状況・利用意向とも、ひとり暮らしが非常に高い率です。また、本来必要と考えられる要介護4は利用状況・利用意向とも最も低くなっています(図3-12)。

表3-2で現在の利用回数と今後の利用希望回数をみると、現状より利用希望人数は増加していますが、回数はどちらも、「週1~3回」が最も多くなっています。

図3-12 訪問介護の利用状況と利用意向



表3-2 訪問介護の利用回数と利用希望回数

単位：人

区分	現在の利用回数(週)						利用希望回数(週)						
	N	1~3回	4~6回	7~9回	10回以上	無回答	N	1~3回	4~6回	7~9回	10回以上	無回答	
全体	1,482	1,038	220	116	40	68	1,921	1,297	279	134	50	161	
要介護度	要支援	257	227	13	5	-	12	334	277	18	6	-	33
	要介護1	461	360	54	23	1	23	591	437	73	27	2	52
	要介護2	287	187	58	23	9	10	391	239	76	29	13	34
	要介護3	178	92	41	28	11	6	237	135	45	33	12	12
	要介護4	103	61	25	10	1	6	136	81	29	12	2	12
	要介護5	154	78	28	24	18	6	176	89	35	24	21	7

(5) 訪問入浴介護

訪問入浴介護を現在利用しているのは6.2%(277人)なのに、利用意向は18.0%(809人)と約3倍になっています。利用している277人中要介護5・4で165人(59.6%)を占めていますが、利用意向はすべての要介護度でかなり増加しています(図3-13)。

表3-3で1週間の利用回数をみると、現状は週1回が277人中165人(59.6%)を占めているのに、利用希望回数は週1回が809人中307人(37.9%)、週2回が283人(35.0%)、週3回以上が107人(13.2%)となっています。利用希望回数を要介護度別にみると、週1回の比率は要介護度が重くなるほど高くなる傾向がみられます。

図3-13 訪問入浴介護の利用状況と利用意向

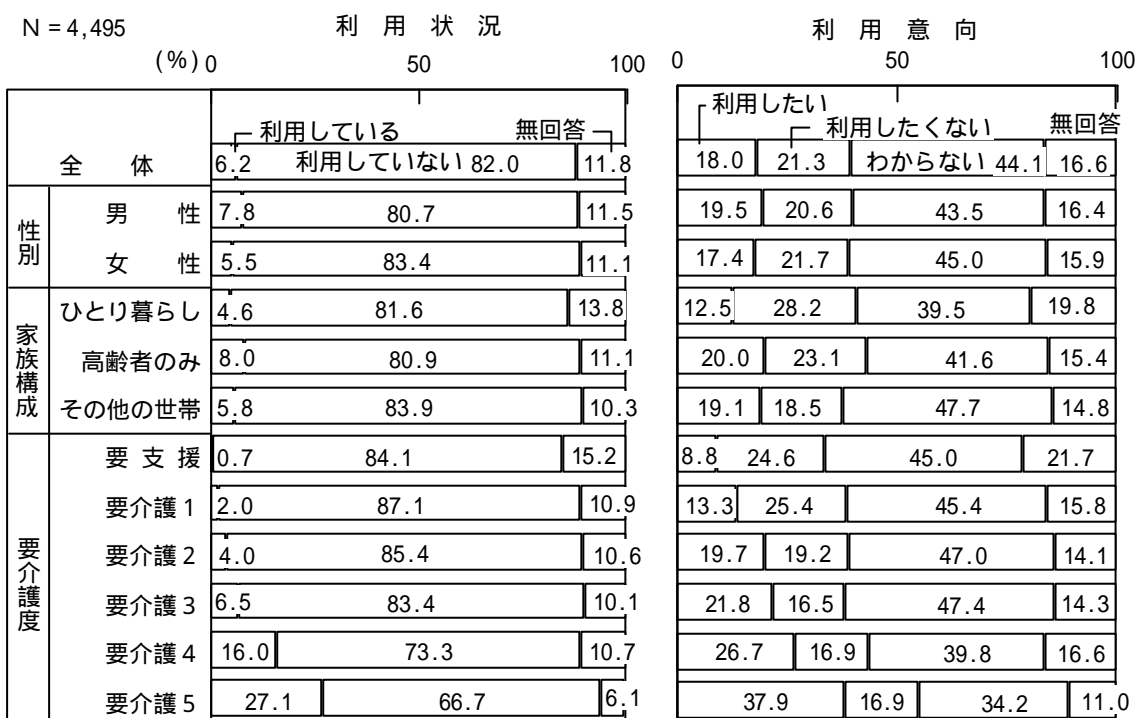


表3-3 訪問入浴介護の利用回数と利用希望回数

単位：人

区分	現在の利用回数(週)					利用希望回数(週)				
	N	1回	2回	3回以上	無回答	N	1回	2回	3回以上	無回答
全体	277	165	63	21	28	809	307	283	107	112
要支援	5	4	1	-	-	64	20	20	6	18
要介護1	27	6	9	4	8	179	51	73	20	35
要介護2	37	21	11	3	2	182	64	66	29	23
要介護3	37	25	6	4	2	123	48	39	23	13
要介護4	54	27	16	2	9	90	38	31	10	11
要介護5	111	79	20	7	5	155	81	48	18	8

訪問入浴介護の設問の欄外に以下の添え書きがありました。

寝たきりになったときは利用したい。(3件)

デイサービスに行かなくなったら週に1回程度利用したい。(2件)

現時点ではまだ不要。

現在は一人入浴可能であるが、不自由になった場合は利用したい(本人が拒まなければ)、今のところデイサービス、ショートステイで入浴していますが、これらが利用できなくなったら。

可能な限り訪問介護の入浴サービスで維持したい。

利用したいが、お金の問題。

現在は必要ない。デイサービスで入浴してくるので家庭風呂はめんどくさいと言って入りたがらない。

一緒にお風呂にいったお世話になっている。

入院前はシャワーだけ。

風呂は危ないから温湯のシャワーだけ利用している。

7～9月までは利用していた。

今後必要になると思う。

利用したいが本人が同意せず。

現在のところは家族でできる。

利用したいが、冬は風邪をひくからわからない。

利用したいが、病気が悪くてできない。

デイサービスに行けるようになるまではお風呂へお世話してほしい。

今のところは利用したくない。

退院したら利用したい。

家の改造・改築をしたので今の所は不要。

動けるうちは必要ない。

体の状態による。

現在主人が家事一切してくれています。家事だけお願いできるとありがたいと思います。

(6) 訪問看護

訪問看護の利用者は12.9%（579人）でしたが、利用希望者は24.8%（1,113人）となっています。要介護度別にみると、利用状況・利用意向とも重度になるほど高くなっています（図3 - 14）。

週1回の利用希望者は、かなり増加していますが、比率で見ると現在の利用回数より減少しています（表3 - 4）。

欄外に、「1か月に2回利用している」「その都度利用したい」「利用したいが多ければ費用がかかる」などと記入されていました。

図3 - 14 訪問看護の利用状況と利用意向

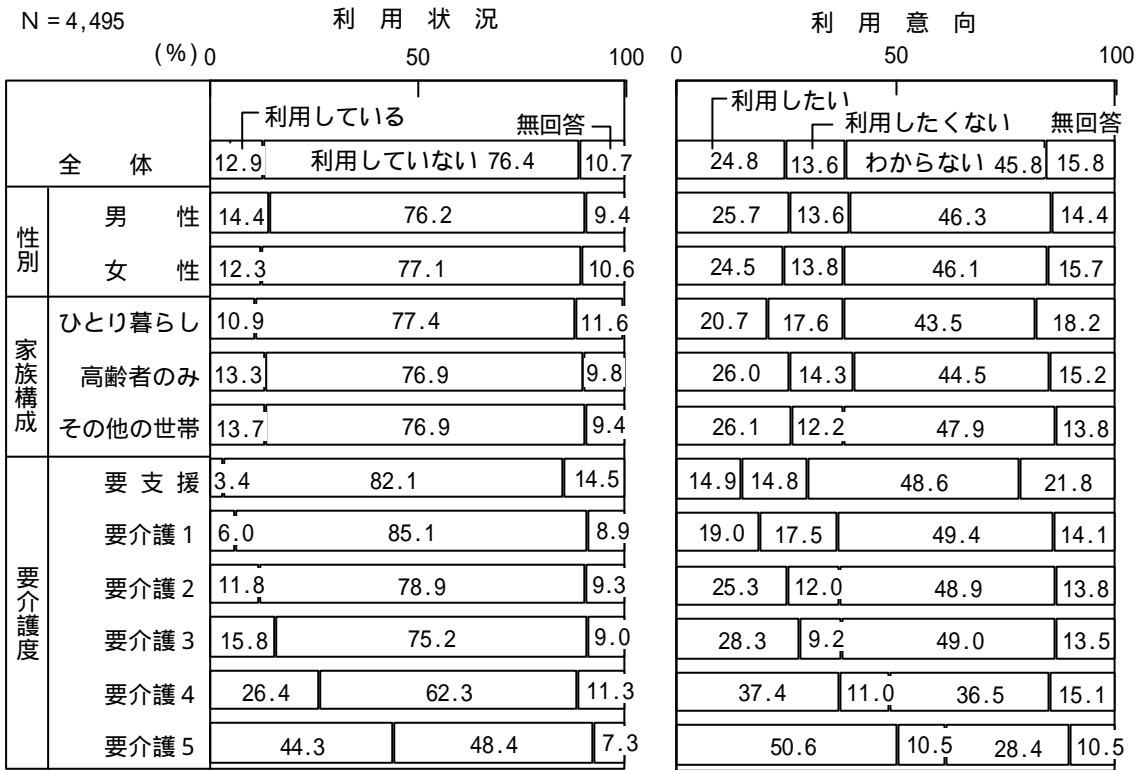


表3 - 4 訪問看護の利用回数と利用希望回数

単位：人

区分	現在の利用回数（週）					利用希望回数（週）					
	N	1回	2回	3回以上	無回答	N	1回	2回	3回以上	無回答	
全体	579	298	126	66	89	1,113	498	258	161	196	
要介護度	要支援	25	13	3	2	7	108	39	19	14	36
	要介護1	81	40	17	7	17	256	109	66	27	54
	要介護2	109	66	16	9	18	234	109	44	42	39
	要介護3	89	55	20	2	12	160	84	35	17	24
	要介護4	89	48	19	8	14	126	61	32	17	16
	要介護5	181	74	51	37	19	207	88	59	43	17

(7) 訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションは、4,495人中312人（6.9%）が「利用している」と答えています。利用率が高いのは、性別では男性（9.0%）、家族構成別では高齢者のみの世帯（8.5%）、要介護度別では要介護5（20.3%）となっています。要介護度別の利用意向をみると、比較的平均化しています（図3 - 15）。

利用希望回数は、いずれも利用回数より増加していますが、率で見ると週1回が減少し、週2回・週3回以上が増加しています（表3 - 5）。

本設問の添え書きとして、「料金が高すぎる。1時間以内830円」「痛みがあるのでひねくり回されるのはいやだ」などが記入されていました。

図3 - 15 訪問リハビリテーションの利用状況と利用意向

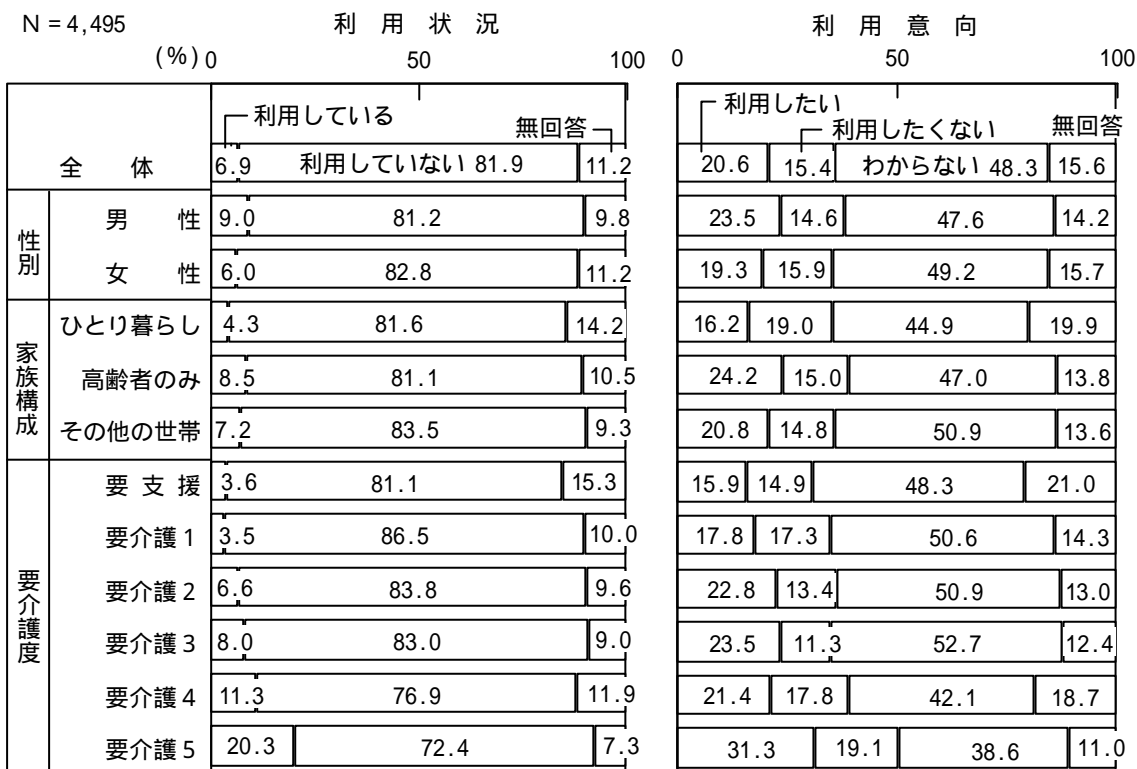


表3 - 5 訪問リハビリテーションの利用回数と利用希望回数 単位：人

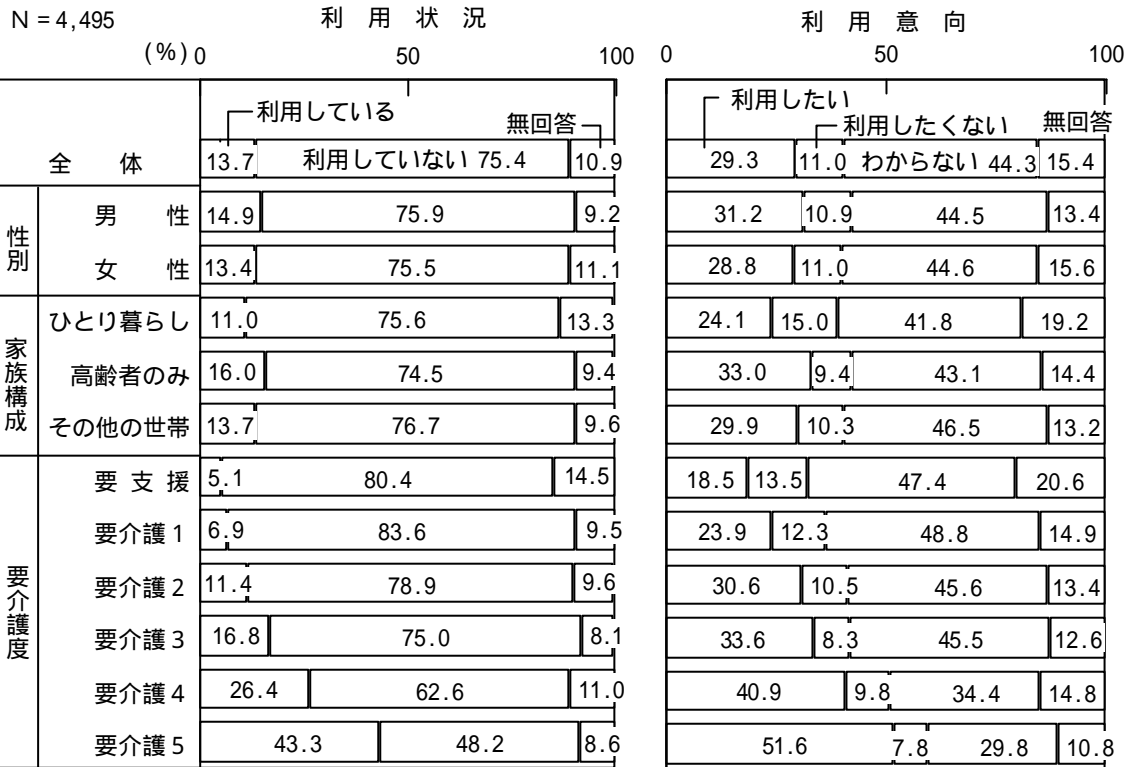
区分	現在の利用回数（週）					利用希望回数（週）					
	N	1回	2回	3回以上	無回答	N	1回	2回	3回以上	無回答	
全体	312	168	62	31	51	928	368	234	168	158	
要介護度	要支援	26	8	8	2	8	115	42	31	16	26
	要介護1	47	22	11	5	9	239	91	53	41	54
	要介護2	61	29	11	9	12	211	83	55	44	29
	要介護3	45	28	5	4	8	133	55	34	22	22
	要介護4	38	27	7	1	3	72	33	24	10	5
	要介護5	83	48	18	8	9	128	52	33	30	13

(8) 居宅療養管理指導

居宅療養管理指導を利用しているのは、13.7%(615人)ですが、利用意向は29.3%(1,316人)と2倍以上になっています。利用状況・利用意向とも、性別では男性、家族構成別では高齢者のみの世帯、要介護度別では重度ほど高くなっています。

本設問の欄外に、「入れ歯が合っていないようなので作り替えるために利用したい」「1か月に1回往診を頼んでいる」「今はリフトバスで外に出かけるよう心がけている」「退院したら利用したい」「1か月に1回利用したい」などと記入されていました。

図3 - 16 居宅療養管理指導の利用状況と利用意向



(9) 通所介護

通所介護の利用は42.1%と非常に高くなっています。家族構成別ではその他の世帯(49.9%)、要介護度別では要介護3(50.4%)・要介護2(50.3%)が高く、利用意向もほぼ同様の傾向を示しています(図3-17)。

利用回数と利用希望回数を比較すると、週1回が減少し、週3回・週5回以上がかなり増加しています(表3-6)。

本設問の添え書きとして「1か月に1回利用したい」「家族としては利用したいが、本人が嫌がる」「65歳以下の身体障害者の通えるところがほしい」などがありました。

図3-17 通所介護の利用状況と利用意向

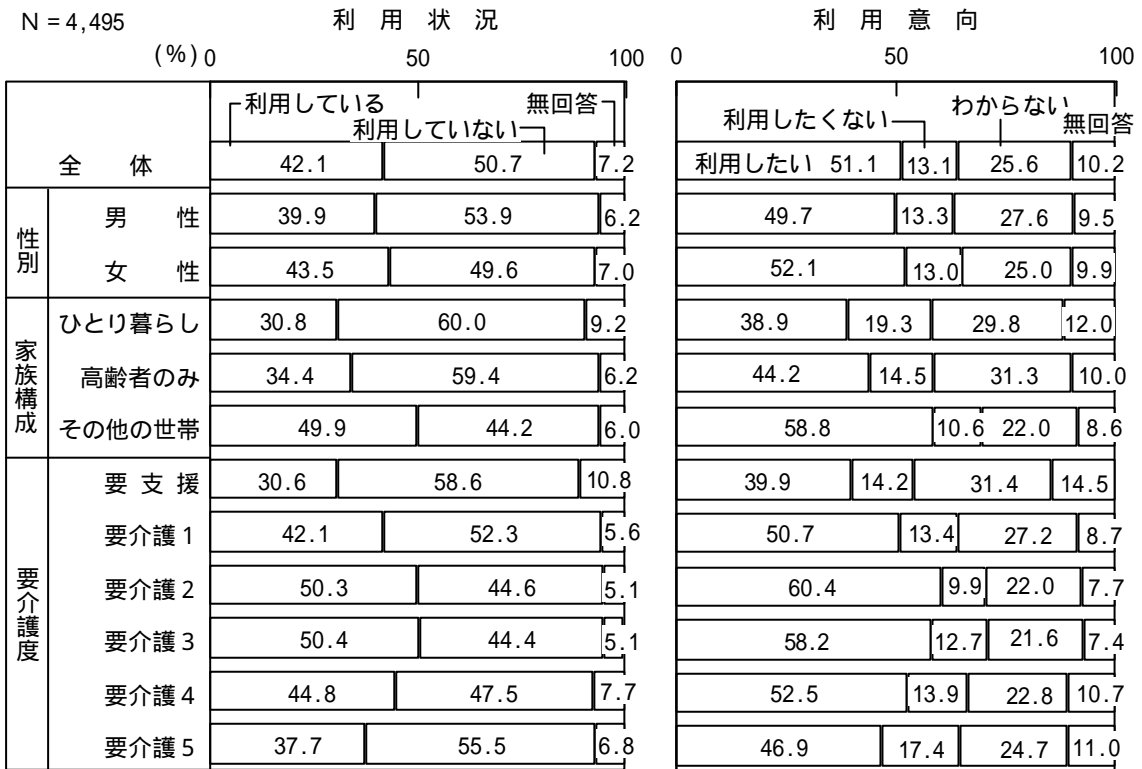


表3-6 通所介護の利用回数と利用希望回数

単位：人

区分	現在の利用回数(週)							利用希望回数(週)							
	N	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答	N	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答	
全体	1,892	573	670	337	105	92	115	2,298	556	768	498	122	179	175	
要介護度	要支援	222	102	89	5	1	2	23	289	96	111	35	3	6	38
	要介護1	566	197	205	99	26	5	34	682	197	237	151	31	23	43
	要介護2	466	125	165	103	29	21	23	559	117	172	144	28	58	40
	要介護3	285	63	101	55	24	26	16	329	60	108	72	27	46	16
	要介護4	151	27	55	30	10	22	7	177	23	57	47	12	29	9
	要介護5	154	43	41	34	15	15	6	192	45	60	39	20	16	12

(10) 通所リハビリテーション

通所リハビリテーションの利用は、全体で23.2%ですが、要介護度別では要介護3の28.1%をピークにしています。利用意向は33.7%と10.5ポイント上昇しており、要介護度別にみると、要介護2の39.5%をピークにしています(図3-18)。

利用希望回数は利用回数より人数が増加しましたが、それぞれの回数の比率はほとんど同率です(表3-7)。

本設問の添え書きとして、「介護保険でなく国民健康保険で受けている」「デイ・ケアでリハビリをしていただけるのでしょうか? 一度も受けたことがありません」などが記入されていました。

図3-18 通所リハビリテーションの利用状況と利用意向

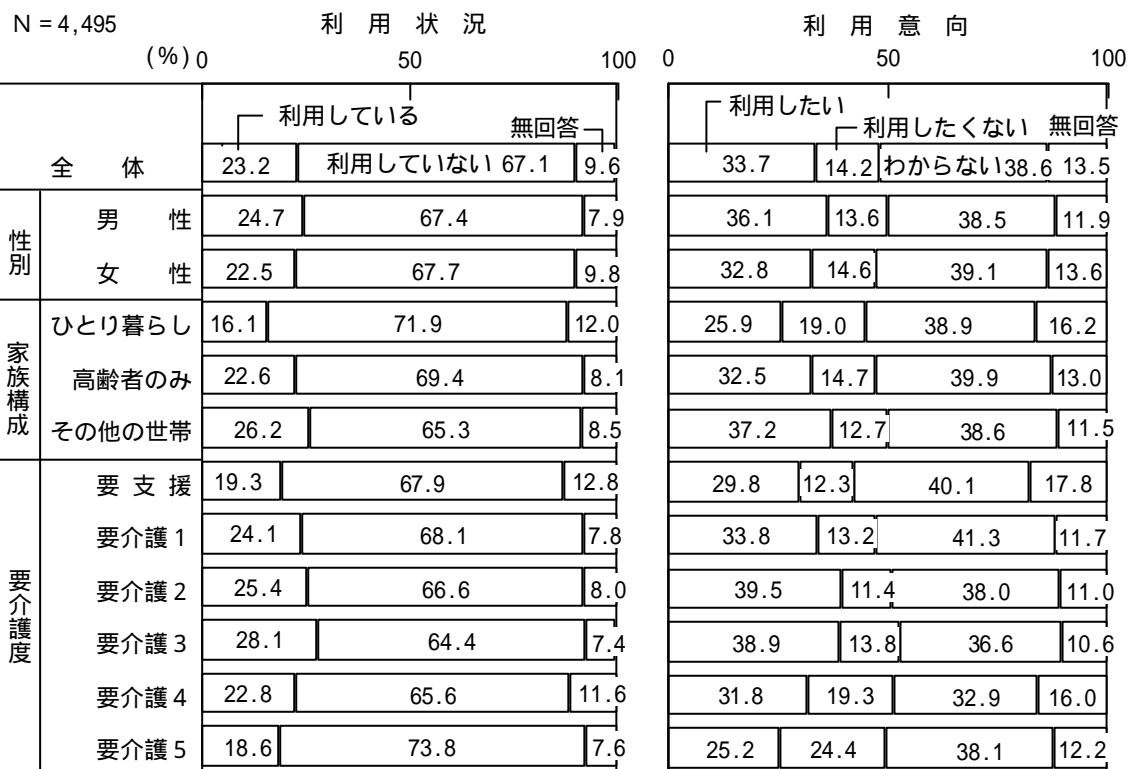


表3-7 通所リハビリテーションの利用回数と利用希望回数

単位：人

区分	現在の利用回数(週)							利用希望回数(週)							
	N	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答	N	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答	
全体	1,045	267	331	203	51	63	130	1,516	388	481	298	73	105	171	
要介護度	要支援	140	42	41	14	1	7	35	216	56	72	34	5	11	38
	要介護1	324	86	115	63	14	14	32	455	125	156	88	18	20	48
	要介護2	235	53	75	57	14	11	25	366	89	113	81	25	27	31
	要介護3	159	33	57	33	13	11	12	220	50	76	44	12	18	20
	要介護4	77	21	21	14	3	8	10	107	27	26	20	5	12	17
	要介護5	76	22	14	18	5	9	8	103	29	22	25	7	13	7

(11) 短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）

ショートステイを利用しているのは15.6%、利用意向は31.0%となっています。利用状況・利用意向を家族構成別にみると、その他の世帯が高くなっており、要介護度別にみると重度ほど高くなっています（図3 - 19）。

利用日数・利用希望日数とも、月1～7日が最も多くなっています（表3 - 8）。

図3 - 19 ショートステイの利用状況と利用意向



表3 - 8 ショートステイの利用日数と利用希望日数

単位：人

区分	現在の利用日数（月）						利用希望日数（月）						
	N	1 7 日	8 14 日	15 21 日	22 以上	無 回 答	N	1 7 日	8 14 日	15 21 日	22 以上	無 回 答	
全体	701	420	102	27	8	144	1,393	759	182	102	67	283	
要 介 護 度	要支援	23	13	1	-	-	9	102	56	5	3	2	36
	要介護1	100	64	8	2	1	25	319	182	33	19	11	74
	要介護2	155	100	21	6	-	28	338	200	36	24	14	64
	要介護3	155	89	20	6	2	38	247	124	35	26	12	50
	要介護4	114	68	21	3	2	20	156	82	25	15	15	19
	要介護5	147	85	29	10	3	20	206	107	42	15	13	29

欄外に以下の添え書きがありました。

今はしたくない。

自分が家を空ける事情の場合のみ利用している。利用しているホームは本人も落ち着いて戻ってくるが、ホームまで送っていかなければならないのが残念。方角が一人だけ離れているので来れないとのこと。

酸素使用、呼吸器使用、人工呼吸器持込の施設希望
老人ホームで寝たきりにされた。

利用状況の欄に以下の添え書きがありました。

介護がどうしても都合の悪い時に利用している。(3件)

1年に10日(2件)

半年に1回、7日~10日

1泊2日を2回

家族としては利用したいが本人が嫌がる。

海外に行った時10日間利用した。

1年に7日

1年に8回

利用意向の欄に以下の添え書きがありました。

将来考える。(2件)

今後、家人が留守になるとき利用したい。

家の者が都合の悪いときに利用できたらと思います。

今後の体調がどうなるかわからない。

介護者が病院入院時などは利用したい。

もっとお世話になりたい。

週に1度利用したい。

その時がくれば利用する。

デイケア程度ですませたい。

来てくれる人がいるから利用したくない。

その場にならないとわからない。

用事があるときは利用したい。

(12) 福祉用具の利用

福祉用具を利用しているのは36.2%であり、利用意向は51.3%とかなりの高率となっています。利用状況・利用意向とも、性別では男性、家族構成別では高齢者のみの世帯、要介護度別では重度ほど高くなっています(図3-20)

利用している福祉用具としては、「特殊寝台」(850人)、「車いす」(824人)が、利用希望も「特殊寝台」(1,038人)、「車いす」(1,022人)が多くなっています(表3-9)

図3-20 福祉用具の利用状況と利用意向

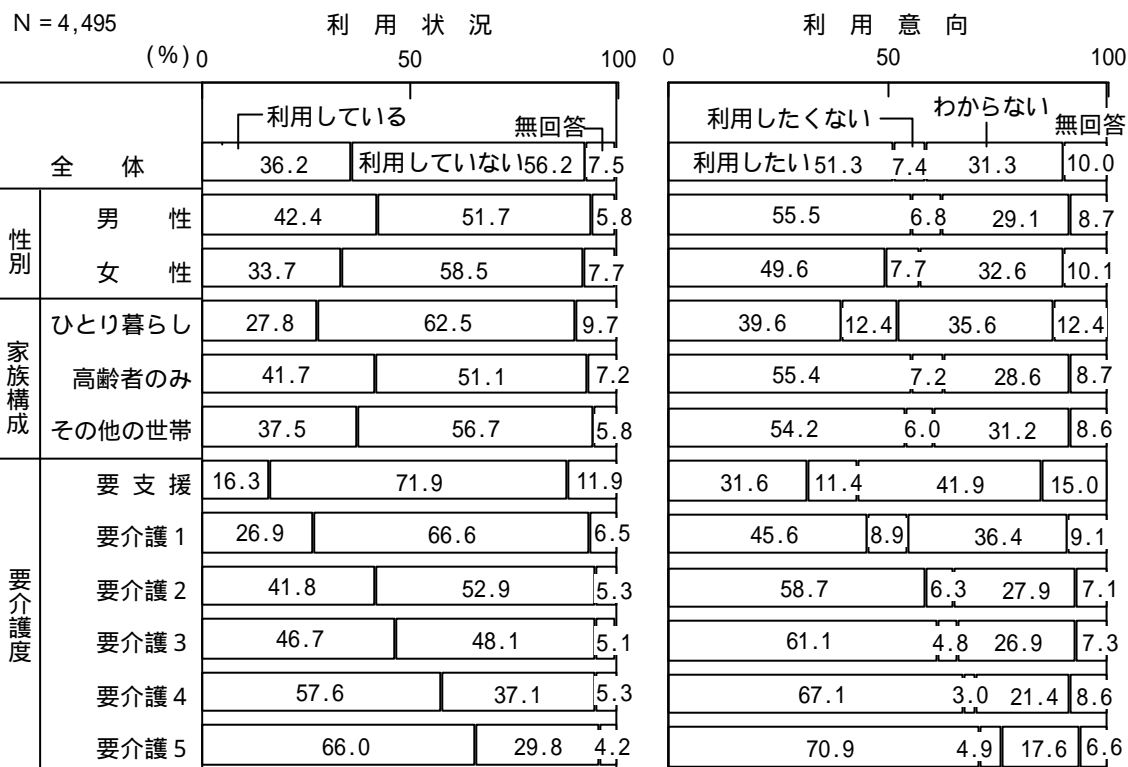


表3-9 利用している福祉用具と利用したい福祉用具(複数回答)

単位:人

区分	利用している福祉用具										利用したい福祉用具									
	N	車いす	歩行器	特殊寝台	褥れそう予(床用)防用具	痴徊呆感性知老機人器律	腰掛便座	特殊尿器	その他	無回答	N	車いす	歩行器	特殊寝台	褥れそう予(床用)防用具	痴徊呆感性知老機人器律	腰掛便座	特殊尿器	その他	無回答
全体	1,629	824	209	850	189	2	262	26	198	15	2,305	1,022	313	1,038	428	155	309	151	110	359
要支援	118	29	14	48	4	-	17	-	30	2	229	85	42	84	15	10	19	7	17	58
要介護1	362	134	61	161	8	-	64	5	46	4	613	237	93	251	67	37	86	38	30	102
要介護2	387	190	59	199	12	1	76	6	40	3	544	254	87	255	90	40	94	42	22	69
要介護3	264	168	39	144	18	1	55	5	25	2	345	178	46	167	53	34	55	23	10	47
要介護4	194	126	18	122	37	-	18	5	21	-	226	109	20	115	62	18	20	23	12	29
要介護5	270	159	11	163	108	-	28	5	33	3	290	132	15	148	137	14	27	17	17	42

「その他」として、多くの記入がありました。それをまとめたのが下表です。

表3 - 10 選択肢になかった福祉用具等

区分	利用している	利用したい
意見・要望等	<p>自分で購入した(車いす、特殊寝台等)(6) 車いすと寝台を1か月借りた。 車いすを健康保険組合から借りている。 ベッドを2か月利用したが、大きいうえ重くて移動や掃除に困ってやめた。 給付を希望します。 10月まで利用していた。 車いすを利用しているが、とても使いにくい ため、より使いやすいものがほしい。</p>	<p>必要になったとき(あるいは「将来」)利用 したい。(12) 今のところは利用したくない。(2) 電動車いすでの生活ができる施設がほしい。 必要に応じて家にて求めている。 その時にならないと分からない。 貸与の種類が少ない。 今は痴呆性のみだが、歳をとるとともにどの ようにぼけてしまうかとか、徘徊したときの ことを考えると、いずれは利用したいと考 えている。</p>
福祉用具等	<p>歩行補助つえ(19) 手すり(17) シャワーチェ ア(9) 入浴用いす(8) スロープ(7) 電動 車いす(7) 電動自動車(6) 浴槽内いす(6) テーブル(5) ベッドの柵(5) ベッド(4) ベッド用テーブル(4) 酸素吸入器(4) エ アーマット(3) 足装具(3) 吸入吸引器(3) バスボード(2) 移動用リフト(2) 手押し 車(2) 入浴補助具(2) 浴槽内手すり(2) 浴室用車いす(2) ウィングスワン・サイドレ ール・ハンディスロープ・回転式アーム介助バ ー スイングアーム介助バー ベッドの付属小 物数点 上下移動の可能な机 空気入りクッシ ョン 自動シニアカー 車いす用テーブル 手 動式のベッド 昇降機 据え置き便座 電動式 ベッド 入浴用のいろいろの用具 飯台 風呂 用いすと浴中いす 平行棒 浴槽台</p>	<p>歩行補助つえ(9) 手すり(8) スロープ(6) ベッド(4) 電動カート(4) テーブル(3) ベッドの柵(3) マット(2) 移動用リフト (2) 吸引器(2) 酸素吸入器(2) 電動車い す(2) 靴 シャワー腰かけ・浴室踏み台 ス イングアーム介助バー ベッドサイドテー ブル ベッドの付属小物数点 ポータブルトイレ 移動滑車 介助人がいない場合に緊急を知らせ る救急ボタン式報知器 吸入吸引器 三輪車 車いす用テーブル 車いす・歩行棒・特殊寝台 手動式のベッド 寝ダコ防止マット 洗髪用 具 体位変換する用具 電動バイク 電動車 読書拡大器 入浴機器 入浴用いす リフト 歩行練習用の器具 浴槽の手すり</p>

(注) ()内の数字は件数、()がないものは1件である。

(13) 住宅改修費の支給

住宅改修費の支給を受けたのは23.0%（1,033人）でした。家族構成別では高齢者のみの世帯（31.2%）、要介護度別では要介護4（29.1%）、要介護2（28.1%）が高くなっています。一方、今後住宅改修費の支給を受けたいと答えた人は46.2%（2,078人）と大幅に増加しています。家族構成別では高齢者のみの世帯（52.5%）が高く、要介護度別では要介護2の55.7%をピークにしています。

図3 - 21 住宅改修費の利用状況と利用意向

N = 4,495

		利用状況 (%)			利用意向 (%)			
		0	50	100	0	50	100	
		利用したことがある			利用したくない			
		無回答			わからない			
		無回答			無回答			
全体		23.0	69.5	7.5	46.2	8.7	32.9	12.2
性別	男性	28.4	65.8	5.8	50.0	7.9	30.8	11.4
	女性	20.7	71.6	7.7	44.8	9.1	34.2	12.0
家族構成	ひとり暮らし	23.5	66.3	10.2	40.0	13.0	32.1	14.8
	高齢者のみ	31.2	61.5	7.3	52.5	7.3	27.2	13.0
	その他の世帯	19.7	74.5	5.8	46.2	8.0	35.9	9.8
要介護度	要支援	16.3	73.0	10.8	39.4	9.9	34.1	16.6
	要介護1	22.0	71.3	6.7	46.2	9.0	33.8	11.1
	要介護2	28.1	66.2	5.7	55.7	7.0	28.4	8.9
	要介護3	25.0	69.4	5.7	50.6	6.5	32.4	10.4
	要介護4	29.1	65.0	5.9	48.1	8.0	32.6	11.3
	要介護5	23.5	72.6	3.9	37.7	12.0	41.3	9.0

欄外に以下の添え書きがありました。

手すりを取り付けてもらいました。（5件）

今のところは利用したくない。後ほどはお願いしたいと思う。（4件）

アパートのため利用できない。（2件）

新築なので分かりません。（2件）

両手が不自由ですので、居間を直したいと思います。

もうひとり暮らしはできませんので、利用したくない。

自費で大体の改修はしたが、段差の改修のみは未改修である。

以前改修したが、利用できるとは知らなかった。

市の大工さんを指名してやらなかったため自己負担（約10万円）で修理した。

利用したいと思ったが収入の制限があって自費にて改造。

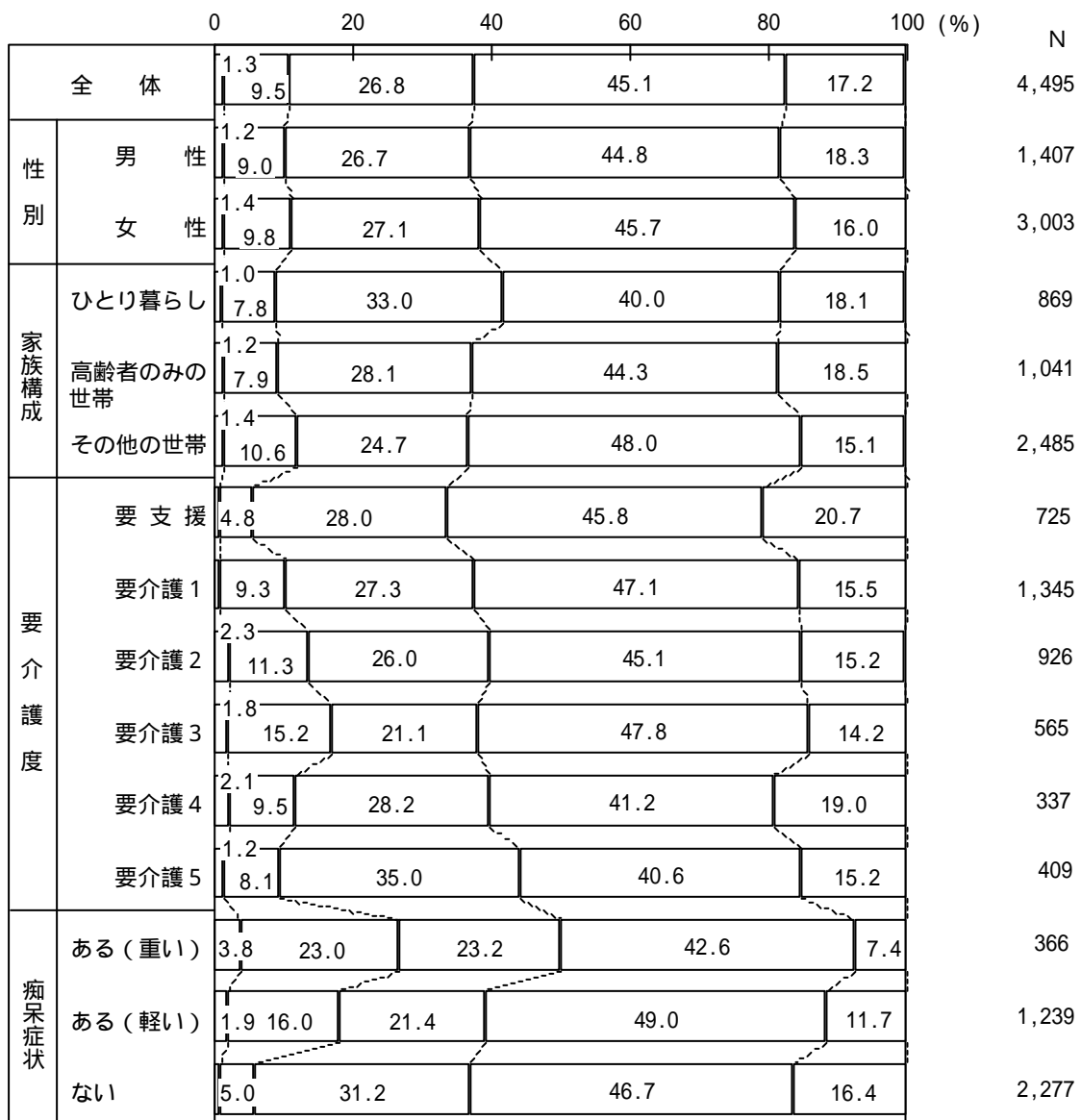
(14) 痴呆対応型共同生活介護（グループホーム）

グループホームを「利用している」のは1.3%（60人）ですが、痴呆症状の「ない」人が17人含まれています。

「利用したい」と答えたのは9.5%（429人）で、痴呆症状が「ない」人が113人含まれています。

欄外に「利用しなければならなくなったときに利用したい」「現在の状況では共同生活は無理と思える」「その時がきたらぜひ利用したいと思う。独居のため人手がほしい」などの添え書きがありました。

図3 - 22 グループホームの利用



利用している 利用したい 利用したくない
 わからない 無回答

(15) 特定施設入所者生活介護

特定施設入所者生活介護は、「利用している」が1.5%（68人）ありますが、調査時点の本市には特定施設がありませんが、実際に利用していた人は2人でしたので、多くの人が誤解されて記入したものと考えられます。

「利用したい」は12.0%（540人）と非常に高い値です。

欄外に「私達の少ない年金で入れるところを作ってください」「経済的に大変です」「入所申し込みしてもなかなか順番が来ない」「試験入所の受け入れ態勢が不十分のように思う」「もし主人に先立たれた場合、利用したい」などと記入した人がいました。

図3 - 23 特定施設入所者生活介護の利用

